

令和 7 年 稲沢市教育委員会 第 10 回定例会会議録

1 日 時 令和 7 年 10 月 28 日 (火) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 45 分

2 場 所 議員総会室

3 出席委員 教育長 渡辺 孝雄
教育長職務代理者 伊藤 浩樹
委員 澤田 可奈子
委員 大島 宏之
委員 森 誠子
委員 大崎 正敬

4 説明のため出席した職員

教育部長	大口 伸	庶務課主幹	犬飼 貴志
教育部次長兼庶務課長	江頭 弘幸	学校教育課統括主幹兼指導主事	伊藤 実
庶務課主幹	鈴木 達哉	学校教育課主幹兼指導主事	伊藤 尚
生涯学習課長	別府 正弘	生涯学習課主幹	松尾 俊明
生涯学習課主幹	田村 正樹	スポーツ課主幹	鈴木 元行
図書館長	塚本 ゆかり	図書館主幹	花田 陽子
美術館長	長谷川 隆		
書記 庶務課	大崎 敬介	北村 公美	

5 教育長報告

6 前回会議録の承認

令和 7 年 第 9 回定例会会議録 承認

7 教育委員会報告

8 9月定例会一般質問の内容について

9 議事

- ・議案第16号 令和8年度人事異動方針（案）について

10 報告

- ・稲沢市教育委員会後援名義使用承認について

11 その他

12 次回開催予定日時

一 開 会 一

◎教育長

定刻になりましたので、令和7年第10回教育委員会定例会を開会します。

◎教育長

教育長報告の前に、少しお時間をいただきます。吉川繁樹委員が教育委員を10月23日をもって退任されました。その後10月24日から大崎正敬委員に指導をいただいている。最初に、大崎委員からご挨拶をお願いします。

（大崎委員あいさつ）

◎教育長

ありがとうございました。それでは、教育長報告ということで、私から少しお話をさせていただきます。

ここしばらくで急に季節が進みまして、秋の深まりを感じる頃となりました。小・中学校では、熱中症を避けるため、運動会や体育祭を10月に計画することが増えておりまます。他の行事と相まって、10月は行事が盛りだくさんとなっています。

各学校では、目指す児童像・生徒像の実現に向けて、学校行事の目的や意味を考え、教育課程に位置付けています。子どもたちは、こんな行事にしたいとか、こんなふうになりたいという願いをもって参加し、先生方も、一人一人の子どもたちをこんなふうに成長させたいという願いをもって、事前の指導から事後の振り返りまで懸命に取り組んでいます。行事を通して見られる子どもたちの成長は、子どもたち自身の自信となり、先生方の喜びとなるものでもあります。

ます。行事を精選しスリム化する中においても、子どもたちの成長と先生方のやりがいの両面を充実できるように工夫する必要があると考えています。

10月には、市の行事も多くありました。10月18日、19日には秋の芸術祭が開催されましたが、大人、特にご高齢の方に交じって、子どもたちが生き生きと活動していたことを素晴らしい感じました。茶会では、お点前を披露したり、客にお菓子や抹茶を運んだりする子どもの所作に感銘を受けました。また、芸能大会では、ダンスや日本舞踊、和太鼓などで、子どもたちが堂々と演技をしていました。少子高齢化が進む今、幅広い年代の方々が一緒に活動することは、文化の創造や継承という点でも、また、ご高齢の皆さん活力や生きがいという点からも意義深いことだと感じております。部活動の地域展開における受け皿が課題となる中、このような活動が選択肢の一つになって、子どもたちの豊かな学びの場になるとよいなという感想をもっているところです。

最後に1点、県立学校の再編についてお知らせをおきます。愛西工科高校と杏和高校に関係がある内容です。10月18日に報道発表されましたので、既にご承知かもしれません、愛西工科高校が、令和10年、2028年4月から生徒の募集を停止し、在校生が卒業する令和11年度、2029年度末に閉校することとなりました。理由としては、尾張西部地区の中学生卒業見込み者の減少の進行が早いことと、生徒が名古屋市等へ流出することが顕著なため、昨年度112人の欠員があり、今年度1学級減で募集をしたところ67人の欠員を生じたことから、今後単独で専門的な教育を行うことが困難であるというふうに想定したと聞いております。一方で、現在卒業生に対しては、企業から30倍を超える求人があることから、尾張西部地区における工業人材育成の期待に応えるために、杏和高校の総合学科の系列に、機械科、ロボット工学科、電子工学科を組み入れることになったということです。令和10年、2028年4月入学の1年生から新しい総合学科がスタートし、令和12年度、2030年度には、3学年全てがリニューアルした杏和高校となる予定だと聞いております。

1点ご紹介をしておきたいと思います。

◎教育長

3. 前回会議録の承認について、前回会議録を順次お回ししますので、お目通しをいただき、署名をお願いいたします。

◎教育長

次に、4. 教育委員会報告について、教育部長お願いします。

●教育部長

先月の定例教育委員会から今日まで、教育委員会に関わる主な行事等につい

て報告させていただきます。定例会事項の 1 ページをお願いします。

9 月 30 日火曜日、この日、新しい議長に木全信明議員、副議長に津田敏樹議員が選任されました。文教厚生委員会では、委員長に黒田哲生議員、副委員長に大野紀之議員が選出されました。また、教育委員会委員に大崎正敬委員の任命が同意されました。

同日、稻沢西小学校の永井里空さんが、子どものためのヴァイオリン・コンクールにおいて、小学校 1・2 年生の部門で金賞を受賞した旨の報告のため市長を表敬訪問されました。

10 月 1 日水曜日、稻沢商工会議所終身名誉会頭久納昇辰様から昨年 10 月に教育に対するご寄付としていただきました 1 千万円に対する国からの紺綬褒章の伝達式を開催し、市長から久納昇辰様に章記及び飾版を贈呈いたしました。

10 月 3 日金曜日、日本ど真ん中祭りに出場したダンスチーム SPICE！と大里中学校の代表生徒が出場の報告と、SPICE！においては特別賞と地域活性化部門賞を受賞しましたので、その報告のため市長を表敬訪問されました。

10 月 6 日月曜日、大里西小学校の窪田あこさんが、10 月 17 日から 19 日に神奈川県横浜市で開催されます全日本フィギュアスケートノービス選手権大会に 2 年連続で出場を果たした報告のため、市長を表敬訪問されました。

10 月 7 日火曜日、稻沢緑ライオンズクラブから学校に対し、空気清浄機 6 台をご寄付いただき、市長から野々部尚明会長に感謝状を贈呈いたしました。

10 月 13 日月曜日、稻沢市民展表彰式を開催し、部門別に優秀作品の受賞者に賞状を贈呈いたしました。市民展の会期中の来館者数は、第 1 部 日本画・洋画・写真に 891 人、第 2 部 書・工芸美術に 766 人、合計で 1,657 人の方が来館されました。

次に、10 月 18 日土曜日と 19 日日曜日、稻沢まつり期間中に市指定文化財「稻沢市中高記念館」の一般公開を行い、2 日間で 351 人が訪れました。

同日、宮浦公園で保存管理している D51 形蒸気機関車の一般公開を行い、206 人の方が訪れました。

また、秋の芸術祭として、名古屋文理大学文化フォーラムでは 18 日に芸能発表と短歌大会、国府宮神社境内では、18 日、19 日の 2 日間秋の茶会・華道展が開催され、芸能発表と短歌大会には合わせて 456 人、茶会・華道展には合わせて 1,138 人の方が来場されました。

10 月 23 日木曜日、美術館特別展「荻須高徳リトグラフ展－稻沢市荻須記念美術館コレクション－」の開会式を開催し、57 人の方に参加していただきました。この特別展は、第一部が 11 月 16 日まで、作品を入れ替えました第二部が

11月18日から12月7日までご観覧いただけます。

教育委員会報告は、以上です。

◎教育長

ただいまの教育委員会報告で何かご質問等、お聞きになりたいことがありますならお願いします。

教育長

ないようですので、次に移ります。5.9月定例会一般質問の内容について、教育部長お願いします。

●教育部長

先月9月8日から30日まで23日間の会期で9月定例市議会が開催されました。その中で教育委員会に関わる主な内容について報告いたします。

議案等につきましては、予算関係議案として「令和7年度稻沢市一般会計補正予算（第4号）」があり、原案どおり議決をいただきました。また、教育委員会委員の任命についての議会の同意案が1件あり、原案どおり同意をいただきました。

次に、一般質問について、質問・答弁の主なものを報告させていただきます。お手元の発言通告書をご覧ください。教育委員会に関わる内容の質問者は8人でした。

最初に、9月11日の1番目の質問者、杉山太希議員からは、GIGAスクール構想について、次期期末の選定にあたっては、現在の端末を使用した課題を踏まえ、どのような改善や配慮がなされているかという質問がありました。教育部長から「現在の端末では、故障などで修理を要することが多いことが大きな課題となっているため、次期期末では、起動の速さや操作性がスムーズであるだけでなく、壊れにくい丈夫な端末であることも重点において選定している。」旨を答弁いたしました。

次に、9月11日2番目の質問者、朽木敏子議員からは、屋内運動場や特別教室へのエアコン設置について質問がありました。教育部長から「小学校の特別教室や屋内運動場、中学校の特別教室への空調設備につきましては、近年の夏の暑さに鑑みまして、順次整備が必要であると考えている。導入にあたっては、多額の費用が必要になるため、国の補助金や起債などを考慮しながら、計画的に進めてまいりたいと考えている。」旨を答弁いたしました。

次に、9月11日4番目の質問者、服部俊夫議員からは、猛暑における児童・生徒への対策として、晴雨兼用の傘や塩分タブレット、経口補水液を児童生徒に配布する等の支援は考えていないか質問がありました。教育部長から「晴雨

兼用の傘や冷却グッズの使用は、各学校において保護者の判断を尊重し、柔軟に対応しており、塩分タブレットや経口補水液についても、保健室や職員室に常備し、熱中症の疑いのある児童生徒の初期対応ができるよう正在しているので、現時点において、稲沢市として晴雨兼用の傘や塩分タブレットなどの配付については考えていません。」旨を答弁いたしました。

次に、9月12日1番目の質問者、星野俊次議員からは、「児童・生徒の授業への猛暑の影響について質問がありました。教育部長から、「授業への影響については、生活科の町探検、社会科の学校のまわりの探検、理科の植物の観察、体育の授業などで、屋外での活動を制限したり、授業時間や実施時期を変更したりすることが増えている。運動会や体育祭に向けての練習においても、気温が高くなる時間帯は屋外での活動を減らし、活動内容によっては、屋内運動場や教室を利用するよう工夫している。」旨を答弁いたしました。

次に、9月12日の2番目の質問者、平野泰弘議員からは、「小中学校にある遊具点検について質問がありました。教育部長から「小中学校の遊具については、常に安全に使用ができるよう専門業者に保守点検業務を委託している。業務内容としては、国土交通省の指針に基づき、目視や可動部への給油、ボルトの締め付けなど年3回の定期点検及び塗装の厚さ、部材の傾きなどを検査する非破壊安全検査を年1回実施している。」旨を答弁いたしました。

次に、9月12日の5番目の質問者、鈴木純子議員からは、「学校での盗撮防止の取組について質問がありました。教育部長から、「個人で所有するスマートフォン等による撮影の禁止、児童生徒とのSNS等での私的な連絡の禁止や個別面談は密室を避け、適切な距離を確保することなど、改めて確認している。また、清掃時等、定期的に教室・更衣室・トイレの点検を行い、カメラ等の不審物がないか確認している。」旨を答弁いたしました。

次に、9月16日3番目の質問者、日比野貴子議員からは、「生命の安全教育」への取組について質問がありました。教育部長から、「生命の安全教育」は、児童生徒の発達段階や学校の状況を踏まえて実施することとされており、市内小中学校においても、各学校の計画に基づいて、性に関する教育や命を大切にする教育を進めている。今後も、児童生徒が犯罪の加害者や被害者、傍観者にならないよう、発達段階に応じた「生命の安全教育」を進める。」旨を答弁いたしました。

最後に、9月16日4番目の質問者、北村太郎議員からは、指定文化財の駒札・説明板に2次元コードをつけて、他の文化財の情報もわかるようにしてはどうかとの質問がありました。教育部長から「駒札・説明板に2次元コードをつけ

るためには、設置場所に応じて携帯端末で読み込めるよう、適切な大きさのコードをつけるためのスペースが必要となる。まずは生涯学習課で管理する駒札・説明板を確認し、訪れる方が多い箇所から適宜対応したいと考えている。」旨を答弁しました。

議会報告については、以上です。

◎教育長

ただいまの一般質問の内容の説明で何かご質問等、お聞きになりたいことがありましたらどうぞお願いします。

◎教育長

ないようですので、次に移ります。6. 議事に入ります。

議案第16号「令和8年度人事異動方針（案）について」を議題とします。学校教育課から説明をお願いします。

●学校教育課長

議案書2ページをご覧ください。 (議案第16号 朗読)

3ページをご覧ください。

稲沢市教育委員会としての人事の基本方針を定める必要があるために、令和8年度人事異動方針（案）を提案いたします。内容につきましては、「1方針」「2実施要領」にあるとおりでございます。

この内容につきましては、4ページにあります愛知県教育委員会の令和8年度教職員定期人事異動方針に基づいております。愛知県教育委員会の令和8年度教職員定期人事異動方針は、令和7年度のものと変更はありませんでした。稲沢市の令和8年度 人事異動方針（案）につきましても、令和7年度のものから変更はしておりません。

なお、3ページ最下段の※印のところにあります、令和8年度の県費負担市町村立学校事務職員及び栄養教諭・学校栄養職員の人事異動につきましては、愛知県教育委員会の方針に準じて行ってまいります。

以上、よろしくお願ひいたします。

◎教育長

ただいま事務局から説明がありました。ご意見、ご質問はありますか。

○大崎委員

公務員の定年延長が始まりまして、2年前からでしょうか、定年延長と同時に役職定年制が愛知県の場合導入されていると思います。役職定年を迎えた管理職の先生方の人事異動については、どのように進めてみえますか。

●学校教育課統括主幹

管理職につきましては、60歳を迎えたなら、一般教員と同じように、人事異動を行っております。

○伊藤委員

(2)の④ですが、原則として片道おおむね1時間半程度と定められているようですが、今先生方で特に遠方から通ってみえるという実例はわかってみえますか。

●学校教育課統括主幹

県の方針が1時間30分ですので、稻沢市には遠くから通っている方もみえますが、この範囲は超えていません。電車で通ってみえる方では、乗り継ぎの面も考慮しますと、少し時間がかかる方はおみえです。

○大崎委員

方針の(2)に教職員構成については、「地域及び学校間の格差を少なくし、その均衡を図る」とあります。特に「格差を少なくし」という文言が、ここに記載されていますので、稻沢市の場合、地域間、学校間でこういった格差がどの程度あるのでしょうか。

●学校教育課統括主幹

「学校間の格差」とありますが、特に年齢構成や男女の職員構成で、先生方が相談しやすいように学習しやすいように、お互いに研修が進めやすいようにということを考えています。

○大崎委員

「格差を少なくし」という文言があるので、今格差があるのかなという感じでとらえられてしまうので、格差がないものであれば、ここ「格差を少なくし」という文言を削除したほうがいいかなと思いました。ですから、「地域及び学校間の均衡を図る」という程度でどうかなと見ていて感じました。

●学校教育課長

ご意見、ありがとうございます。

○澤田委員

1方針の(4)で、「男女を問わず」という文言があるのが、気になったところで意見をさせていただきます。人材を登用するのは当たり前のことだと思いますので、「男女問わず」とわざわざ入るのは、違和感がありますので、いかがでしょうか。

●学校教育課長

貴重なご意見、ありがとうございます。検討させていただきます。

◎教育長

ほかにいかがでしょうか。

◎教育長

ないようですので、お諮りします。その前に確認ですが、今の大崎委員の御意見については、「格差を少なくし、その」という言葉を削除するということ、また、澤田委員の御意見については、「男女を問わず登用する」ということについて、「男女を問わず」という言葉を削除して修正するということでよろしいでしょうか。

●学校教育課長

そのように修正したいと考えております。

◎教育長

それでは、お諮りします。議案第16号を一部修正の上、承認としてよろしいでしょうか。

(委員さんから異議なしの声あり)

◎教育長

異議なしと認め、議案第16号は承認されました。本日の議案は、これで全て承認されました。ありがとうございました。

◎教育長

続きまして、7. 報告事項に移ります。「稲沢市教育委員会後援名義使用承認について」を庶務課から説明をお願いします。

●庶務課長

定例会事項の2ページをお願いします。4ページにかけまして「稲沢市教育委員会後援名義使用承認一覧表」を掲載しております。ここに記載のとおり、9件の後援名義使用承認申請につきまして、事務取扱要領に基づき、承認させていただきましたことをご報告いたします。

以上です。

◎教育長

ただいまの報告について、ご質問等お聞きになりたいことございましたらお願いします。

◎教育長

ないようですので、次に進みます。8. その他について事務局から何かありますか。

●庶務課長

庶務課から1点、祖父江支所地区まちづくり推進協議会から「学校施設整備

基本計画について」の説明のため職員派遣の依頼があり、計画の概要等について説明を行いましたので、ご報告させていただきます。

今月10月17日（金）午後3時から祖父江支所2階大会議室において 祖父江支所地区まちづくり推進協議会役員会が行われ、学校施設整備基本計画の内容、祖父江地区の児童・生徒数の現状、将来推計などについて30分ほど説明をしたのち、質疑、ご意見を伺いました。

主な意見といたしましては

- ・祖父江地区の児童・生徒数の状況から学校再編はやむなしと考えるが、計画にある小学校6校を小学校1校又は2校に再編するのではなく3校にすることを強く望む。
- ・市の人口増加に向けた努力が推計に反映されていない。もう少し状況を見てから再検討するべきである。
- ・新しい学校の設立までには、長い時間、期間を要するため、再編・統合に向けた協議をすぐに進めるべきである。

などの意見がありました。

また、「稻沢市学校施設整備基本計画に関する意見書」が、提出されました。意見書には、まちづくり推進協議会で行った学校再編する場合の学校の数や徒歩通学の距離などの実態調査の結果や新設する学校の設置場所と規模、地域コミュニティ活動の継続などが、記載されています。これらのこと踏まえ児童数を維持し増やすための人口減少対策とともに、まちづくり推進協議会の役員会の多数意見として、祖父江地区6小学校を1校又は2校ではなく、3校に再編することを要望する内容となっています。

以上です。

◎教育長

その他、なにかございますか。

◎教育長

では、ただいま庶務課から説明がありましたが、委員の皆様、ご質問等お聞きになりたいことございましたらお願いします。

○伊藤委員

時間も結構早いので、この間六輪小学校へ学校訪問で行きましたので、皆さん、行かれた方の感想や、気づかれた点をお話されたらどうかと思います。

◎教育長

ありがとうございました。先ほど庶務課長から説明があったことについては、ご質問等はよろしかったでしょうか。

◎教育長

では、今伊藤委員から出していただきましたが、先日教育委員の視察として六輪小学校を訪問してまいりました。その時の印象、あるいは感想等、様子を見てきたことについて、何かご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

○大島委員

今回は低学年の授業が中心でした。これまで学校訪問で訪問してきたところは牧川小学校で、1学年1学級の小さな学校だったのですが、今回の六輪小学校は少し大きくて1学年2学級でした。大きいと言ってもそんなに大きいわけではありませんが、よくまとまって授業をされているなという印象を受けました。それから、特別支援学級についても、先生がそれぞれについて、非常に忠実な授業をされていて、今まで見たことがなかったのですが、一人一人に対して非常に細やかな教育をされているなという印象を受けました。今後、人口減少とともに、こういう細やかな指導がどういうふうな形でなされていくのかは分かりませんが、先ほど報告があった祖父江の学校再編の場合、計画では1校か2校に再編統合するというのを、3校にするという意見がまちづくり協議会で出ているということでした。私は去年の再編の議題が出たときに1校で学校を大きくして、人数が多ければ教職員も多くて、いろいろな能力とかそういう分野の方が増えるですから、大きな学校にしていろいろなことを細かくやって行ったほうがいいのではないかと意見を述べました。3校案ですと、そのほうが確かに細かな所まで見える気もするんですが、逆に先生の数も少なくなるですから、それぞれの子どもさんに対する指導もかえって手が届かないところが出てくるのではないかと思います。六輪小学校を見ても、学校がある程度大きくても、非常に細かく児童一人に対して、いろいろな先生が能力に応じて対応されている。その辺のところも見ながら、まちづくり協議会では、早急に進めてほしいという意見もあったようですが、そんなに急に決められないと思いますので、慌てないでじっくり考えて対応していくべきだと思います。人口についても、特に私祖父江に住んでいますし、うちの近所も何十年も人口が変わらないというか、少しも町らしくならないというか、私が小さい子どもの頃からほとんど形が変わっていないようなところなので、そんなに簡単には人口も増えませんし、難しい話だなというふうに考えています。まとめがありましたが、以上です。

◎教育長

ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。

○澤田委員

六輪小学校にお伺いしたお話をさせていただきます。印象としましては、本当に素直で元気な児童が楽しく学校に通っているなということがとても感じられました。見させていただいた中で、私の心に留まったのは、各クラスいろいろな色があるなということを感じました。教室内にいろいろクラスのみんなで作られただろう掲示物がたくさん貼られているクラスもあれば、きれいに整頓されているクラスもあったり、そういうところに特色が表れている学校だなと感じました。あと、授業を見ている中で、タブレットを使っている教室が1クラスあったのですが、確か1年生のクラスでした。タブレットで、教室でこうしてねと先生がお話しても、1年生だと何、どこ、何というそんな言葉が飛び交っていたので、やはりまだ低学年のお子さんのタブレットの使い方をもっと考えていいかないといけないのではないかということを見学させていただいて感じました。

○教育長

ほかにいかがですか。

○伊藤委員

私は地元なので、よく六輪小学校に伺っているのですが、思ったこととしては、外国人の子どもたちに関して、校長先生以下先生方が非常に苦労されているなど。ポケトークでも言葉が通じない言語を使用する国が出身の児童もみて、非常に苦労されている。これは特殊な例かもしれません、今後その子どもたちが中学校に行くと、中学校でも同じことをやるのかなと思いながら。実際、小学校の授業と中学校の授業というのは、まったく違うと思うので、あの子たちから一人も脱落者を出さない教育というのを、稻沢市はめざしているので、今だからこそではないですが、外国の子たちが入ってくるので、いろいろな対応を上手に地域も含めてやっていかなければいけないと。先生たちの苦労を感じました。もう一つ感じたのは、入った瞬間に、廊下にどこの学校にもあると思いますが、子どもたちの笑顔の写真、これがぱっと六輪小学校も飾ってありました。いろいろ事件があって、写真を撮ること自体が大変にもなってきているようなので、その辺は節度を持って、きちんとやりながら、あの笑顔を大事にしてあげてほしいなという感想を持ちました。

○教育長

ありがとうございました。それぞれ六輪小学校を訪問しての感想を伺いました。魅力ある学校づくりの指定を受けていることもあります、この学校は校長先生をはじめみんなで、魅力ある学校づくりのために日々努力をしていると

いう、いろいろなお話を聞かせていただきました。外国人の子どもが、日本語が本当にわからない、話せないし聞いても理解できない子どもが突然学校に転入してくるということが、これは特別なことではなくて、当たり前のように起きている、これから起きてくる時代ですので、改めてこの前六輪小学校にお邪魔して、その辺りの話をいろいろ聞く中で、私たちとしてどうやってそれをサポートしていくかということを改めて感じて帰ってきたところです。

その他でほかに何かございますか。

◎教育長

ないようですので、次回開催予定日時について、教育部長お願ひします。

(教育部長から説明)

◎教育長

次回開催予定日時でございました。

◎教育長

以上をもちまして、本日の予定はすべて終了いたしました。

これをもちまして、第10回教育委員会定例会を終わります。お疲れ様でございました。

次回開催予定日

令和 7 年 1 月 11 日 (火) 午後 1 時 30 分
市役所議員総会室

— 閉 会 —

令和 7 年 1 月 28 日

教 育 長

職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

書 記